

『ベビーカーでウォッチング』報告書

- ・日時：2006年5月17日（水）
10:30～11:30
- ・場所：NHK水戸放送局
- ・参加者：親子11組
- ・NHK担当者：企画編成・佐々木伸二副部長、井上圭子広報事業担当

視察の様子・意見交換の様子

一昨年10月に茨城県内向けの県域デジタル放送がスタートし、建物のリニューアル、オープンスタジオの設置がされたNHK水戸放送局(水戸市大町)。

今回は、オープンスタジオのある1階の、子どもと楽しめるキャスター体験コーナー、プリクラ感覚で自由にメッセージと映像を残せるメッセージコーナー、NHKの過去の人気番組を視聴できるアーカイブスコーナーなどを見学。

その後、トイレの設備チェックなどを行った後、NHK水戸放送局・企画編成の佐々木伸二副部長と、同じく企画編成・広報事業担当の井上圭子さんと、設備や番組についての意見交換を行った。

ベビーカーでのエレベーター移動などもある施設の場合とは違い、今回はオープンスタジオとその周辺の体験コーナー、そしてトイレのチェックという、1Fのみのウォッチング。

今までのウォッチングと趣の異なる点もあったが、この3月にオムツ替えシートが設置されたというトイレについてや、授乳をしたい時に提供してもらえる部屋があるかなどについて、参加者からは乳幼児連れならではの視点で、意見や質問が出された。

また、水戸放送局の県域デジタル放送で今年度から、毎月第3月曜日(11:30～12:00の枠)に行われるようになった子育て情報番組についても、地元密着の子育て情報を提供してほしいなどの意見が出た。

意見交換終了後は、11:30～12:00に公開生放送で行われている「こんにちは いばらきわいわいスタジオ」を見学した。

司会挨拶

ペンギんくらぶのベビーカーでウォッチングにお集まりくださいまして、ありがとうございました。今日はNHK水戸放送局の見学ということで、スタジオ内のポイントを説明していただきました。企画編成の副部長の佐々木様と井上様にお越しいただいて、子育て中の

の若い方の意見も聞きたいということで、意見交換の場を 30 分持たせていただきましたので、よろしく願いいたします。

意見交換要旨（敬称略、名前の記載がないものは参加者の発言）

【NHK 水戸放送局を訪れた感想】

・トイレの説明などもしていただき、小さい子を連れて安心して遊びに来られる場所だということが分かって、よかった。

・小さい赤ちゃんが一緒でも、室内で楽しめる設備がたくさんある。

・転勤で水戸に来て間もなく、小さい子どもを連れて遊びにいけるところが分からなくて困っていたが、気軽に来られそうということが分かった。

・家の近所にこういうところがあって、便利だと思った。

【トイレ】

・以前は身障者用トイレのオムツ替えシートがなかったが、いつごろついたのか。一般から希望などがあってつけたのか。

（井上圭子・企画編成広報事業担当、以下、井上）予算の関係などから、今まで身障者用から順次用意してきた。今回、新年度の計画であったが、3月に設置することができた。

・子ども用トイレの検討はあるか。

（井上）補助便座などは、検討の1つに入れさせていただきたい。

・オムツ用のゴミ箱を設置してもらえないか。ゴミの有料化の問題もあり、持ち帰ればいいことでもあるが、あると便利。検討していただければ。

（佐々木伸二・企画編成副部長、以下、佐々木）はい。

・オムツ替えシートを、身障者用トイレではなく、女性用トイレにつけることも検討したという話だったが、子どもが父親と出かけることもあるので、みんなが入れる（男女とも入れる身障者用）トイレにつけていただいていたよかったです。

・女性用トイレの個室、身障者用トイレにベビーキープがあると便利。

（井上）女性用トイレはスペースが非常に狭く、設置が厳しい。身障者用トイレのオムツ替えシートがベビーキープの代わりになるのではと考えた。

(佐々木) この会館は、昭和 48 年にでき、県域放送開始に合わせて平成 16 年に大規模なりリニューアルをしたもので、建物の基本的な構造的な部分は古い建築基準のまま。スペースなどが、狭いとお感じになったと思うが、最近の NHK の全国の放送会館も順次建て替えており、ある程度ゆったりとしたスペースを取ってやっているようだ。水戸も何年か先になるか分からないが、建て替え時には、バリアフリーやお子様のためのスペース確保といった対策をしていきたい。

【NHK の番組・県域デジタル放送について】

・子ども向けの番組はどれくらいやっているのか。

(佐々木) 水戸放送局では、1 日の中で約 2 時間 40 分の強ぐらいの時間の番組を制作し、茨城県内向けに、県域放送として出している。これは主に、生活情報系の番組と、今日 1 日の出来事ということでニュースという形で放送。

NHK の番組全体では、主に教育番組の中で、子ども向け番組を放送している。子ども向けのアニメーションなどは、全て東京で制作。

水戸放送局では月 1 回ペースで、親子で楽しめるコーナーを実施。番組は、オープンスタジオで公開生放送、昼 11 時半から 12 時までの 30 分と、夕方 5 時 10 分から 7 時までの約 2 時間、自由にオープンスタジオで番組を見られる。

・水戸放送局で行われた BS おかあさんといっしょの収録に参加したことがある。親も楽しかったので、そういう企画みたいなものがあれば、また是非参加したい。

・月 1 回 (第 3 月曜 11:00 ~ 12:00 の間) やっている子育て番組を 1 度見た。今回見た放送では、一般的な手遊びを取り上げていたが、今までどんな内容をやってきて、これからどんなことをやっていく予定か。もう少し、たとえば子連れで参加できるイベント情報とか、育児サークルや集いの場の具体的な活動内容など、茨城県内の地元密着の話題も提供して欲しい。

(佐々木・井上) 定期的にやるようになったのは今年度からなので、今後、視聴者の要望を、回数や内容に反映させていきたい。

・意見、要望の宛先は。

(井上) NHK 水戸放送局のホームページの、ポストの絵が書いてあるところをクリックしていただくと、メールが送れる。電話でもお受けしている。(URL <http://www.nhk.or.jp/mito/> , TEL 029-232-9885 平日 9:30 ~ 19:00)

・参加型というのは地域でしかできないことなので、もっと取り入れて欲しい。

(佐々木) 分かりました。

【スタジオ内の子ども専用スペースについて】

・子育て情報番組のときにも設置されていた、スポンジタイプのタイルと、ちょっとした積み木などを、子ども専用スペースとして常時設置できないか。子どもを遊ばせながら、親も番組放送を楽しむことができる。

(佐々木) 過去に検討したことがあるが、やはりスペースが取れないというのが一番の悩み。大きな機材等を扱っているので、子どもさんへの安全面の管理体制も課題。

ここは番組出演者も含め、平日1日約200人が訪れることを考えると、スペース的に、すぐには難しい。

【NHKの会館公開について】

(佐々木) 年に1回、例年秋に、会館公開を実施。建物と駐車場スペースを使い、子ども向けのショーや映像公開、キャラクターグッズ販売などを行う。その時期にはご連絡するので、是非参加してほしい。

(井上) ペンギンクラブの活動の中で、定期的なお知らせのようなものは出しているか。

(ペンギンクラブスタッフ) 年4回発行の子育て情報誌、ホームページ、ブログを持っている。是非情報交換を。

【授乳室について】

・授乳室はあるか。ないと、授乳の時間をずらして来ざるをえない。たとえば歴史館では、スタッフの休憩室を授乳室として提供している

(井上) 「授乳室」という形では無いが、具合が悪くなった人のために休憩室というのを設けているので、スペースの用意はできる。

・「授乳される方は声を掛けてください」などの表示があると嬉しい。

司会挨拶

地域に、より密着したいというNHKとの交流を密にし、よりよい情報を得ながら、私たちも子育てしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。佐々木さん、井上さん、ありがとうございました。